



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 大太平洋金属株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5541 URL <https://www.pacific-metals.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松山 輝信 (TEL) 03-3201-6681  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,446	△18.3	△962	—	344	—	301	—
2024年3月期第1四半期	4,217	△61.2	△3,292	—	△1,417	—	△1,566	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 801百万円( —%) 2024年3月期第1四半期 △1,508百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	15.48	—
2024年3月期第1四半期	△80.35	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	74,448	69,861	93.5
2024年3月期	73,790	69,060	93.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 69,603百万円 2024年3月期 68,785百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,248	△10.3	△3,687	—	△1,261	—	△1,346	—	△69.02
通期	14,229	△8.3	△5,979	—	△1,555	—	△1,847	—	△94.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	19,577,071株	2024年3月期	19,577,071株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	75,613株	2024年3月期	75,605株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	19,501,464株	2024年3月期1Q	19,502,026株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ドル高や物価高の継続は経済活動への影響が懸念されるものの、雇用情勢及び企業収益等は総じてみれば改善しており、足踏みが見られる中で緩やかな回復基調となりました。

海外経済については、中国における不動産市場の停滞、世界的な金融引き締め、中東やウクライナ情勢の緊迫化及びインフレ率の高止まり等の影響を受けて景気減速懸念はあるものの、底堅い個人消費や雇用・所得環境等に支えられ、持ち直しが見られる推移となりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、中国の不動産不況に伴い建築需要等の減退から高水準の在庫が積み上がっており、中国国内で余剰となったステンレス製品は近隣諸国へも流れ過当競争の様相を呈しており、これらの影響で一部には断続的な調整も見られ、生産設備の稼働率には総じてばらつきがあり、盛り上がりの欠く推移となりました。

フェロニッケル需要は、前述の環境に加え、海外ステンレス生産者は価格優位性が見られるニッケル銑鉄へ一部調達をシフトしており、また、カーボンニュートラルを意識したステンレススクラップ配合比率見直しも見られ、鈍化傾向の推移となりました。

調達面においては、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の価格は底堅いニッケル鉱石需要等を背景に価格高であり、また、世界的な資源高により諸原燃料価格は高水準にあり、生産コストは高止まりが継続しました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、中国景気の鈍化、外国為替相場や金融資本市場の変動及び中東やウクライナ情勢の緊迫化、また、ニューカレドニアで発生した暴動に伴うニッケル鉱石の供給懸念等、複合的な要因が意識され、比較的上下動の激しい推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前述した価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格が当社の販売価格へも影響する環境となっており、一定の収益性を損なわない戦略的な数量抑制方針を継続したため、前年同四半期と比べ5.5%の減少となりました。

フェロニッケル生産数量は、販売数量抑制方針であるため、前年同四半期と比べ減少しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、当社適用平均為替レートは前年同四半期比12.8%の円安の一方で、当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比32.4%下落し、また、当社適用価格相場に加えて、前述のとおりニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準としたことから従来と比べ販売価格安となり、収入が伸び悩む厳しい販売環境が継続しました。

このように、厳しい事業環境ですが、採算性重視の受注を徹底し、臨機応変な生産販売体制の構築等に努めております。さらには、海底資源を活用した新たな金属製錬プロジェクト等の新規事業開発の早期実現、カーボンニュートラルへ向けたGHG排出量低減の取り組み及びコストミニマムを追求するための業務効率改善策の強化等、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が3,446百万円、前年同四半期比では18.3%の減収となりました。損益面では、棚卸資産簿価切下げ額の戻入を計上したことにより売上原価は減少しましたが減収の影響が大きく営業損失は962百万円(前年同四半期営業損失3,292百万円)、経常損益では営業外収益へ持分法による投資利益852百万円の計上等もあり経常利益は344百万円(前年同四半期経常損失1,417百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は301百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失1,566百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「(1)当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は3,283百万円、前年同四半期比18.8%の減収、営業損失は925百万円(前年同四半期営業損失3,292百万円)となりました。

#### ②ガス事業

ガス事業についての経営成績は、計画どおり安定した操業ではあったものの原燃料価格上昇の影響等もあり、損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は174百万円、前年同四半期比10.8%の減収、営業損失は33百万円(前年同四半期営業利益2百万円)となりました。

#### ③その他

その他の事業部門では、不動産事業で売買成約はありましたが、管理費等を上回る販売収入ではなかったため、損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は7百万円(前年同四半期売上高零)、営業損失は5百万円(前年同四半期営業損失5百万円)となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ658百万円増加し、74,448百万円となりました。

流動資産では、決済の影響等に伴う売掛金の増加や原材料及び貯蔵品の増加等に関連して現金及び預金が減少し、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ467百万円の減少となりました。

固定資産では、持分法適用関連会社に関する為替換算調整勘定の増加による投資有価証券の増加等があり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ1,125百万円の増加となりました。なお、当社の投資有価証券24,959百万円の主な内訳は、持分法適用による連結額20,566百万円、関連会社株式2,320百万円、フィリピンの株式市場へ上場している当社持分法適用関連会社のホールディングカンパニーNickel Asia Corporation株式1,495百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ143百万円減少し、4,586百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金が決済等の影響等で増加しましたが、未払費用の減少及びその他に含まれる設備未払金の減少等があり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ184百万円の減少となりました。

固定負債では、持分法適用関連会社に関する繰延税金負債の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ41百万円の増加となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ801百万円増加し、69,861百万円となりました。

株主資本は、利益計上等により301百万円の増加、その他の包括利益累計額は持分法適用関連会社に関する為替換算調整勘定の増加等により516百万円の増加及び非支配株主持分16百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、中国における不動産市場の停滞、世界的な金融引き締め、中東やウクライナ情勢の緊迫化及びインフレ率の高止まり等の影響を受けて、依然不確実性が高い状態で推移しております。

当社フェロニッケル製品の数量面については、環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画と同程度を見込んでおります。

損益については、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えて価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準で推移しているため、価格面で大きな影響を与えることが見込まれます。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額について、前連結会計年度末から当連結会計年度末にかけて棚卸資産在庫の数量減少等に伴い簿価切下げ額の圧縮が進行することから、売上原価へ簿価切下げ額の戻入れ(売上原価の減少)が見込まれます。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

以上から、2024年7月31日「売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において、連結業績予想を次のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

## 《参考》

## 【業績予想の修正】

2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A) (2024年5月10日発表)	百万円 6,641	百万円 △4,418	百万円 △2,376	百万円 △2,514	円 銭 △128.91
今回修正予想(B)	7,248	△3,687	△1,261	△1,346	△69.02
増減額(B-A)	607	731	1,115	1,168	
増減率(%)	9.1	—	—	—	
(参考)前第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	8,083	△6,194	△2,487	△2,611	△133.90

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年5月10日発表)	百万円 13,994	百万円 △6,838	百万円 △2,903	百万円 △3,252	円 銭 △166.76
今回修正予想(B)	14,229	△5,979	△1,555	△1,847	△94.71
増減額(B-A)	235	859	1,348	1,405	
増減率(%)	1.7	—	—	—	
(参考)前期実績 (2024年3月期)	15,521	△9,114	△2,119	△1,074	△55.10

## 【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2024年5月10日発表)	2,869	3,131	6,000	2,777	2,770	5,547
今回修正予想	3,074	2,926	6,000	2,475	2,770	5,245
(参考)前期実績 (2024年3月期)	3,052	2,973	6,025	3,210	2,825	6,035

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2024年5月10日発表)	7.83	8.00	7.92	139.28	139.15	139.21
今回修正予想	8.08	8.00	8.04	151.61	149.17	150.42
(参考)前期実績 (2024年3月期)	10.78	8.42	9.62	140.18	148.85	144.46

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,758	19,236
売掛金	5,001	6,354
有価証券	2,199	2,199
商品及び製品	7,303	7,515
仕掛品	257	317
原材料及び貯蔵品	3,521	4,106
その他	1,773	1,619
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,814	41,347
固定資産		
有形固定資産	7,388	7,315
無形固定資産	285	9
投資その他の資産		
投資有価証券	23,687	24,959
退職給付に係る資産	476	489
その他	142	332
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	24,301	25,776
固定資産合計	31,975	33,100
資産合計	73,790	74,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	234	412
未払費用	892	790
未払法人税等	47	23
賞与引当金	117	40
復旧費用引当金	5	-
その他	376	223
流動負債合計	1,674	1,489
固定負債		
退職給付に係る負債	59	61
繰延税金負債	1,135	1,175
再評価に係る繰延税金負債	547	547
環境対策引当金	2	2
契約損失引当金	1,273	1,273
復旧費用引当金	14	14
その他	23	22
固定負債合計	3,055	3,096
負債合計	4,729	4,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	49,658	49,960
自己株式	△452	△452
株主資本合計	66,609	66,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	1,137
土地再評価差額金	400	400
為替換算調整勘定	179	744
退職給付に係る調整累計額	412	409
その他の包括利益累計額合計	2,176	2,693
非支配株主持分	274	257
純資産合計	69,060	69,861
負債純資産合計	73,790	74,448



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	4,217	3,446
売上原価	7,023	3,861
売上総損失(△)	△2,806	△415
販売費及び一般管理費		
販売費	89	87
一般管理費	396	459
販売費及び一般管理費合計	485	547
営業損失(△)	△3,292	△962
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	165	73
不動産賃貸料	25	27
持分法による投資利益	1,245	852
為替差益	479	356
その他	19	12
営業外収益合計	1,941	1,331
営業外費用		
支払利息	0	0
棚卸資産処分損	30	1
コミットメントフィー	7	7
外国源泉税	23	9
その他	5	6
営業外費用合計	67	25
経常利益又は経常損失(△)	△1,417	344
特別利益		
投資有価証券売却益	-	25
特別利益合計	-	25
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,417	369
法人税、住民税及び事業税	4	1
法人税等調整額	144	83
法人税等合計	149	84
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,567	285
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,566	301

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,567	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△231	△103
退職給付に係る調整額	△10	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	300	623
その他の包括利益合計	58	516
四半期包括利益	△1,508	801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,507	818
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△16

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ニッケル 事業	ガス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,042	174	4,217	—	4,217	—	4,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21	—	21	△21	—
計	4,042	196	4,238	—	4,238	△21	4,217
セグメント利益又は 損失(△)	△3,292	2	△3,289	△5	△3,294	2	△3,292

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額2百万円には、セグメント間取引消去2百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ニッケル 事業	ガス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,283	155	3,438	7	3,446	—	3,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	—	19	△19	—
計	3,283	174	3,457	7	3,465	△19	3,446
セグメント損失(△)	△925	△33	△959	△5	△964	2	△962

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業であります。

2 セグメント損失の調整額2百万円には、セグメント間取引消去2百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	85 百万円	86 百万円